

## 年末マチュピチュ〜ウユニ塩湖旅行記

M.C.Inversiones Limitada 松行英人

はじめまして、三菱商事から M.C.Inversiones Limitada に研修生（2014年7月～2015年6月）として派遣されています松行英人と申します。チリに来て半年が経過し、周囲からは発音が韓国語みたいとも揶揄される Broken なスペイン語の向上を日々感じながら、充実したサンチャゴでの生活を送っております。

派遣期間が1年のみの私にとって、マチュピチュとウユニ塩湖の二つの人気スポットはチリ滞在中に絶対に旅行しておきたい場所で、ディエシオーチョでは計画が遅く止む無く断念しましたが、今回漸く実現させることが出来ました。

今回は僭越ながら、この念願のマチュピチュ〜ウユニ塩湖7日間の旅についてご紹介させていただきます。ホテル以外は旅行会社に頼らず、フライトやバスは格安サイトで自己手配、ツアーも現地調達で貧乏旅行でしたが、ご興味ある方は是非お読みください。

### 【12月24日】

サンチャゴを深夜便で出発→日本から来た友人とリマ空港で合流→この日は空港泊し、翌早朝5時便でクスコへ移動。26歳のメリークリスマスはリマ空港でした。

### 【12月25日】

クスコ空港に6:30到着。そこからタクシーでクスコ駅へ移動し、事前にネットで手配していた08:25発ペルーレイル（クスコ→マチュピチュ村）に搭乗。

このペルーレイル、内装は綺麗でシートも快適、朝飯も昼飯も出て想像以上のクオリティでした！この列車では、ミシガン駐在中という一人旅の日本人の方と隣の席になりました。この「ミシガン君」とはこれからウユニ塩湖でも遭遇することになります。



電車に揺られること4時間、13:00頃にはマチュピチュ村に到着（意外に小さい村でした）。ホテルにチェックイン後、村のインフォメーションへ翌日のマチュピチュ遺跡のチケットを買いに行きました。

このマチュピチュ遺跡+ワイナピチュは、ご存知の通り1日の入場制限人数が決まっている為、チケットは事前にネットで購入するのが鉄則ですが、相変わらず計画性のない私がサイトを見た時にはワイナピチュのチケットは余裕の Sold Out でしたので、現地で交渉して（金を積むのも辞さず）チケットをゲットする算段でインフォメーションに乗り込みました。結果、案の定入場制限があり「売り切れ」と言うシンプルな理由で拒まれ、ワイナピチュのチケットは手に入りませんでした。

しかし、残念そうな顔をしていたら、代わりに店員は「マチュピチュ山」という山を勧めてきました。この山はワイナピチュとは反対側に位置する山で、標高もワイナピチュに比べ400Mほど高く片道1時間半登るとのこと。「地球の歩き方」では紹介されておらず、マチュピチュ山に登った旅行者のブログを早速確認するとかなり過酷なことがわかり、でもこの際と思い、ワイナピチュは諦めそちらのチケットを購入。

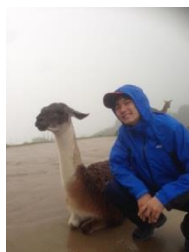
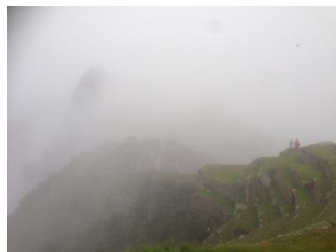
その後は、マチュピチュ村ではあまりやることもないのですが、温泉に入ってみました。タオル、水着もレンタルできます。感想は、言わずもがな決して日本の温泉クオリティをイメージして入ってはいけません。浴槽は5~6種類あるのですがその内半分は水風呂、一番暖かい水温は37度くらい、小雨も降っていて少々寒かったです。そして翌早朝に備え早めに夕食を取り1日目は終了。



#### 【12月26日】

朝5時半起床、シャトルバスでマチュピチュ遺跡へ！

20分程で6時半には遺跡の入り口に到着。然しながら、雨季ということで小雨がぱらつき、加えて一面に濃霧が掛かって、遺跡は何も見えません。昼には霧が晴れることを信じて、とりあえずヤマたちと戯れることにしました。



そして霧は晴れないまま、少々不安だったもののマチュピチュ山を登ってみました。登りは道も狭く、途中から晴れてきて汗はだくだく、麓で水を買って忘れる失態を犯したこともあり、なかなかのムーチョハード登山でした。尚、登山靴は逆に滑るので注意です（私は3回転びました）。頂上に辿り着いた昼頃には霧もすっかり晴れ、マチュピチュ遺跡は遥か下方に（途中からの方がアップで綺麗に見えます）、それ以上に周りの山々がかなり絶景でした！

その後下山し、マチュピチュ遺跡を見学。昼からは何とか晴れてくれて、本当によかったです！



その後は、16:43にマチュピチュ村発のペルーレイルでクスコに戻り、クスコで1泊。夜はクスコでクイを食べてみました！独特の香りと脂っこいのが印象的です。私は1回でいいですね。でも1回は食べてみてください。



#### 【12月27日】

この日はウユニへの移動日でした。朝から飛行機でクスコ→サンタクルス→ラパスと移動し、16時頃にラパス到着。

ラパスを散策し、地球の歩き方で見つけた「けんちゃん食堂」へ。皆さんやはり日本食が恋しいのか、回りも日本人旅行者だらけ。私もチキンカツ定食、シュウマイ、餃子、メにラーメンと食べ過ぎました。

そして、なぜラパスで Stay したかと言うと 21時発のウユニ塩湖行きの夜行バスに乗るためです。今回の旅でも計画性の欠如を露呈しますが、ウユニ行きのフライトも私が見に行った頃（1ヵ月前）には Sold Out でした。この日は車中泊です。

深夜バスの感想ですが、今にもパンクしそうな舗装されていない道路に揺られながらの12時間移動でしたが、私が利用した **TODO TOURISMO** という会社は、シートもほぼ180度倒せてかなり快適です。バスのサスペンションが効いていて余計にぐらぐら揺れますが、逆にそれが私には気持ちよく、10時間は熟睡していました。

ただ、乗客の中には高山病に苦しんでいる方もおり、お子様連れの方や体力に自信のない方にはあまりお勧めできません。



### 【12月28日】

朝8時にウユニの街へ到着、さすがに日差しが強く、塩湖は反射するので目の保護に、まずは RAYBAN の偽物サングラスを2ドルで購入。そこから朝飯を取り、地球の歩き方に載っている HODAKA というツアー会社へ。この会社のツアーは、9割以上は日本人が利用するようで、「ウユニ最高😊」など今までの旅行者の思い思いのメッセージがお店の壁にペタペタ貼ってあります。

この日は、①列車の墓場→コルチャニ村→塩の山→PLAYA BLANCA（塩のホテル）→イスラ・デ・ペスカ（インカワシ島）→鏡張り→サンセット、②夜の星空ツアーの2つに申し込み、早速①ツアー出発。

月並みですが、あたり一面の真っ白な塩湖、周りの壮大な山々、夜は流れ星がいくつも流れるほど綺麗な空、まさに絶景でした。

東京での株主総会の激務に始まり、並行して指導員の先輩の結婚式2次会の幹事、その後、すぐにチリへ…日智経済委員会…とノンストップのこの1年で荒んだ心が綺麗に洗われました。

因みにツアーは5~6名で1台のバンに乗って移動します。ここで出会う日本人の方々との交流がまた面白いのです。世界一周旅行中で去年は3ヶ月サンチャゴの語学学校に通って強盗にもあったという元テレビ局ディレクター、メキシコで自動車工場の現場に張り付きというメキシコ君、テンションが高く姉妹の仲が良すぎる富山県シスターズ、鉄道が趣味と言う鉄ちゃん、戦場カメラマン、などそれぞれのツアーのメンバーにも恵まれ、皆さんとの出会いも最高の思い出となりました。

そして、なんと予約は1ヵ月前と直前だったにもかかわらず、チリの旅行会社経由で塩のホテルが取れちゃいました。友人によると、日本のサイトからでは半年前から満席だったとのこと。しかも部屋も1泊130ドルと日本で購入するよりも遥かに安く。ご飯も美味しく大満足でした。

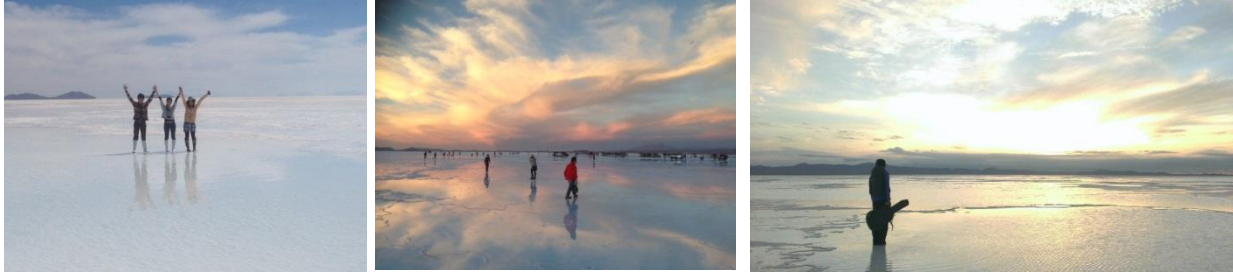


### 【12月29日】

「鏡張り」というのがウユニ塩湖の一つの目玉です。

塩湖の水面に、山、雲、人が反射し、よくある「UYUNI」などの人文字を作って写真を撮るといったものですが、風が強い日は水面が波打ってしまい中々良い写真が撮れないのです。

前日のツアーでは風が強く鏡張りがイマイチだった為、この日は「鏡張り」だけのツアーに申し込みました。このツアーは鏡張りの撮影にたっぷり時間を掛けられるので、写真の思い出を残したい方はお勧めです。



**【12月30日】**

ウユニ→ラパス→リマ→サンチャゴと飛行機を乗り継ぎサンチャゴへ帰還。

この旅では、自分のスペイン語が想像以上に通用して上達実感でき、少し感慨に浸っていたのですが、サンチャゴに戻った途端、タクシー運転手の早いチリ語が聞き取れず、現実に引き戻されました。

それでは、つたない文章でしたが最後までお読み頂いた方ありがとうございました。  
一生心に残る旅となりました。

以上

※この記事は、カマラ会報 238 号（2015 年 5 月発行）に掲載されました。